

矢向・江ヶ崎子どもフェスタ

矢向・江ヶ崎子どもフェスタ2026が、1月25日(日)地区センター・地域ケアプラザに於いて開催されました。子育て支援コーナーでは、おもちゃ作り・巨大ザメゲーム。手遊び&ふれあい遊び・読み聞かせなど、また体育館では、ぶんぶんごま・手作り万華鏡・割りばしてっぽう・バルーンアート・二つ池水族館などの子ども遊びコーナーや、ステージでは合唱・落語会・手話の発表やビンゴゲームなど盛りだくさんのフェスタで3,578名が来場されました。



恒例餅つき大会

年末・年始恒例行事の餅つき大会が行なわれ、つきたてのお餅は、あんこ・きな粉・納豆・大根おろし等で提供され、普段経験できない餅つきの体験もできました。



南町



三丁目



四丁目



五丁目



六丁目

編集後記

今年の冬は2月に積雪があり、「町の原っぱ」でも一面が薄っすら雪景色となりました。そんな冬もようやくあけ、3月中旬には桜の開花を迎え、すでに満開となり頬をなでる風が心地よい季節となりました。皆様のご意見、ご感想を編集委員までお寄せいただければ幸いに存じます。

七海誠(一丁目)、山本秀明(南町)、倉本博行(三丁目)、是近精一(四丁目)
諸星百合子(五丁目)、月村雅紀(六丁目)

日枝神社歳旦祭

1月元旦、新春の穏やかな日差しの中、神社関係者が参集、氏子・地域の繁栄を祈る式典が厳かに執り行われました。

境内では式典の前後に横浜市の文化財である祭囃子の演奏があり、参拝やおみくじ、家内・交通安全などのお守り、破魔矢、土鈴などを求める人々で一日中賑わいました。



日枝神社節分祭

2月3日(火)日枝神社に於いて、山王会主催による節分祭が行なわれました。立春の前日を節分と言い、季節の変わり目に起こりがちな病気や災害を追い払う儀式で、日枝神社では寛永15年の神社創立以来、年中行事の一つとして現在に至っています。役員、年男、年女がまき手となり鬼を追い払いました。



地区民児協会長就任ご挨拶

昨年12月に矢向地区民児協の会長になりました倉本英子です。

渡邊前会長から会長職を引継ぎ重責を感じております。

私は45歳の時に民生委員になり、先輩方の優しい指導によりなんとかやってまいりました。始めたころは様々な手続きが多く、仕事を持っていた私には大変でした。渡邊前会長の丁寧なご指導により後任の会長となり重荷ではありますが、民生委員・児童委員の方々のお力をお借りしながら、任期まで務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。



矢向三丁目町内会役員バス旅行

12月7日(日)那珂湊方面へ晴天で暖かな日差しの中、23名の参加者で行ってきました。干芋の直売所では干芋の種類の多さに皆びっくり、昼食是那珂湊のおさかな市場であんこう鍋をいただき、めんたいパークを見学それぞれが両手一杯海産物などの買い物をして、大洗磯前神社で参拝の後帰途に着きました。

役員相互の親睦も図られ有意義で楽しい一日となりました。





= 矢向あいねっと新聞 =

アロー通信

= 第67号 =

「矢向あいねっと推進委員会」が開催されました！

令和8年1月29日(木)に矢向地域ケアプラザで「矢向あいねっと推進委員会」が開催されました。

今年の「矢向あいねっと推進委員会」では、矢向中学校2年生の生徒2名が参加して下さり、あいねっと5期計画案(矢向地区版)の共有、「矢向・江ヶ崎子どもフェスタ 2026」の報告、地域活動(鶴見みんなの会)紹介の動画視聴を行いました。その後、「こどもが地域活動などに参加してもらうにはどうしたらいいか」についてグループワークを行い、意見交換を行いました。



グループワークで出た意見の一部です

- ・子どもが多く、増えていっている地域なため、計画をする甲斐がある街である。
- ・行い続けている行事にも新しい内容を入れていく必要がある。
- ・企画の段階で興味が湧く内容にしていくと、運営側にも興味を持ってもらえるかもしれない。
- ・どのような行事を行ってほしいか、アンケートを取ってみる。

「あいねっと」とは？

地域福祉保健計画の愛称です。

計画の策定・推進のみが目的ではありません。地域の皆さんが主役です。

矢向地区あいねっとの会議には、町内会会長や地区社会福祉協議会、民生委員、老人クラブ、ボランティア団体などが参加して地域について話し合いをしています。

たすけあい・支えあい・人と人のネットワーク



公認マスコット

二人合わせてあいねっとちゃん

とちのきフェア 矢向あいねっとクイズラリー

ご自宅で眠っている未使用品をご寄付いただけませんか？

毎年10月頃に開催している「とちのきフェア 矢向あいねっとクイズラリー」で参加者にお渡しする景品を地域の皆様から募集します。

未使用の既製品、手作りの小物などをご寄付いただける方は、矢向地域ケアプラザまでお持ちください。

募集期間 令和8年4月～9月末まで

※食べ物や飲み物などはご寄付いただけません。

あらかじめご承知おきください。



「とちのきフェア 矢向あいねっとクイズラリー」とは？

各町内会館・史季の郷前の掲示板を回ってクイズを解き、ケアプラザで景品をもらうイベントです。令和7年度は小さなお子様から大人の方まで 200名以上の方にご参加いただきました。

クイズは、矢向のまちに関するもの、鶴見区地域福祉保健計画「鶴見・あいねっと」に関するものなどで、地域の方からもクイズを募集します。

令和8年も開催しますので、親子や友人と矢向のことを知る機会として、ぜひご参加ください。

みんなで作るみんなの町！

自分たちの住んでいる地域は

自分たちで作りたい

となり近所、みんなが見守り合い

助け合える地域でありたい…

そんな思いを実現させるのが

「矢向あいねっと」です



矢向あいねっと新聞「アロー通信」第67号
発行日：令和8年4月1日発行
編集・発行：矢向あいねっと推進委員会
会長 渡邊 浩
事務局：横浜市矢向地域ケアプラザ
横浜市鶴見区矢向4-32-11

電話 045-573-0020
FAX 045-573-0027

＜アロー通信は年に4回発行しています＞

